



カケハシ・プロジェクト（米国） ユダヤ系米国人招へい第1陣（ブネイ・ブリス・インターナショナル）の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】本プログラムでは、ブネイ・ブリス・インターナショナル（B'nai B'rith International）が選出したユダヤ系米国人7名が、東京都、広島県を訪問しました。日本国内での多様な交流を通じて、日本について包括的な理解を深め、日本の魅力を積極的に発信するとともに、日本と在米ユダヤ人コミュニティの交流や協力関係を促進し、日米関係を強化することを目的として実施されました。

【参加者】

ブネイ・ブリス・インターナショナル（米国）選出の大学生、社会人6名及び引率者1名 合計7名

【訪問地】東京都、広島県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）:

10月29日（水曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】 事業目的・ミッション、日程説明、
渡航上の注意、感染症対策等
来日までの指定期間 【動画視聴】 日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム:

11月3日（月曜日） 羽田空港より入国
【来日時オリエンテーション、グループリーダーブリーフィング】
11月4日（火曜日） 【視察】 迎賓館赤坂離宮
【表敬訪問】 イスラエル大使館 ギラッド・コーヘン 大使
【視察】 明治神宮、原宿（日本のポップカルチャー）
11月5日（水曜日） 東京都から広島県へ移動
【ホームビジット】 福山市
11月6日（木曜日） 【視察】 福山城
【視察】 ホロコースト記念館
【講義】 被爆体験伝承講話
話者：岡本 とし子 氏
【視察】 広島平和記念資料館・広島平和記念公園
11月7日（金曜日） 広島県から東京都へ移動
【表敬訪問】 大西 洋平 外務大臣政務官
【視察】 TEPIA 先端技術館
【意見交換】 ハバッド東京—ハバッドハウス・オブ・ジャパン本部

- 11 月 8 日（土曜日） **【視察】築地場外市場**
【文化体験】抹茶体験
【視察】浅草寺、浅草神社
- 11 月 9 日（日曜日） **【ワークショップ】** 報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
【報告会】 訪日成果・帰国後の活動計画発表
羽田空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム

	
11 月 4 日 【視察】 迎賓館赤坂離宮	11 月 4 日 【表敬訪問】 イスラエル大使館 ギラッド・コーヘン 大使
	
11 月 4 日 【視察】 明治神宮	11 月 5 日 【ホームビジット】



11月6日【視察】福山城



11月6日【視察】ホロコースト記念館



11月6日【講義】
被爆体験伝承講話



11月6日【視察】
広島平和記念資料館・広島平和記念公園



11月7日【表敬訪問】
大西 洋平 外務大臣政務官



11月7日【視察】
TEPIA 先端技術館



11月7日【意見交換】ハバッド東京



11月8日【視察】築地場外市場



11月8日【文化体験】抹茶体験



11月8日【視察】浅草寺



11月9日【報告会】



11月9日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

日本の外交上の優先課題や、ユダヤ人コミュニティをはじめとする多様な海外コミュニティとの関係強化に向けた日本の取り組みについて、理解を一層深めることができました。私たちが受けた温かいもてなしと誠実な対話は、日本が相互理解と友好関係を長期的に育もうとする真摯な姿勢を示すものでした。

◆ **社会人**

日本の大西洋平外務大臣政務官とお会いすることができました。日米関係、日イスラエル関係、そして将来の平和への希望について、政務官ご本人から直接、貴重なお話を伺うことができ、大変光栄でした。

◆ **社会人**

ギラッド・コーヘン大使との会談は大変有意義なものでした。私たちは、大使の日本への深い愛情と支援の気持ちに耳を傾け、それを強く感じるとともに、日米関係を支えるための外交的な取り組みにも深く感謝します。

◆ **大学生**

日本のハバッドを訪れたことは、忘れがたい体験でした。日本らしいデザインと落ち着いた木の内装を持つ建物は、地元の文化とユダヤの伝統が見事に調和しているように感じられました。さらに印象的だったのはコミュニティの存在であり、何千キロも離れた場所にいながら、まるで自分の家にいるかのように温かく迎え入れてくれました

◆ **社会人**

プログラムの随所で日本文化に深く感銘を受けました。特に日本の家庭を訪問したことが最も印象に残っています。また、案内して下さった親切なスタッフの方々との交流や、個人的な視点を伺うことができた雑談も大変有意義でした。広島での体験を通じて、歴史上最も悲慘な時代における日本の視点に触れられたことを心から良かったと思います。

この経験を通じて、文化的な面で多くの人間性と広い視野を得ることができました。この旅を、日本人だけでなくニューヨーク市の他のコミュニティとの橋渡しにも役立てたいと考えています。そして、以前よりも共感力が深まったと感じています。

◆ **社会人**

ホロコースト記念館への訪問は心に響き、非常に意義深いものでした。そして続く広島平和記念資料館では、ユダヤ人と日本人の間に数多くのつながりがあることを感じました。私が関わっているハダサ（米国の女性シオニスト組織）などの団体と情報を共有したいと思っています。

◆ **社会人**

間違いなくホームビジット、ホロコースト記念館、平和記念資料館、そして大使館と外務省への表敬訪問が最も良いプログラムでした。案内していただいた素晴らしい方々やホームビジット先の家族と、これからもつながりを保ちたいです。できれば来年また日本を訪れて、北海道を探訪したいと思っています。私の家族は沖縄にも行きたいと言っています。

4. **受入れ側の感想（抜粋）**

◆ **ホストファミリー**

古民家の外観や内装をご覧いただき、「かっこいい！」と何度もおっしゃって下さったのが嬉しかったです。皆さんの表情が豊かで明るく、日本人もぜひ見習うべき点だと感じました。

◆ **講師**

昨今の国際情勢など複雑な背景がある中で、どのくらい皆さんにヒロシマで起きたことをお伝えできるか、考えさせられるものがありました。しかし、講話の目的は平和について考えるきっかけになってほしいという想いでお話していますので、参加者の皆さんの感想から平和への想いを深め、考えていただくきっかけになったのではと思っています。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

	
2025 年 11 月 8 日（LinkedIn） 社会人 日米関係強化のため来日したユダヤ系米国人グループは、ブネイ・ブリス・インターナショナルの支援により、日本での素晴らしい一週間を過ごしました。私の心は 2 年もの間、イスラエルにありました。駐日イスラエル大使ギラッド・コーヘン氏を表敬訪問し、東京の地で人質解放のニュースに喜びを分かち合い、外交問題について議論できることは、信じられないほど素晴らしい経験でした。私たちは、大西洋平外務大臣政務官も表敬訪問して、日米関係について議論するとともに、この素晴らしい国への思いを語り合いました。また、イスラエル人人質解放を共に喜び、ユダヤ系米国人としての絆と日本への感謝の念についても話しました。広島、福山、東京を訪問し、日本の視点、文化、そしてもちろん…食への深い理解を得ることができました。	2025 年 11 月 12 日（Instagram） 社会人 この 2 年間、家族が 1930～40 年代に経験したことについて、自分の気持ちを投稿し続けてきましたが、コミュニティの外ではほとんど語られていませんでした。 そんな中、日本政府から、日本文化を学びに来ないかと招待を受けました。日本もまた大きな逆境を経験し、それを乗り越えてきた国です。訪れたのは東京（イスラエル大使館も！）、広島、福山。合間には、ユダヤ系米国人コミュニティの代表として、日本とのイスラエル・米国関係について政府関係者と意見交換も行いました。 日本の人々の優しさや努力、逆境を力に変える文化にとっても感動しました。日本を訪れるのは初めてでしたが、すっかり好きになり、また戻ってくるのが楽しみです。そして、この旅をブネイ・ブリスと共にできたことにも心から感謝しています。私とこの組織のつながりは曾祖母の代まで遡り、夫と出会えたのもこの組織のおかげです。そして今回、新たに私の人生に素晴らしい経験を与えてくれました。



2025 年 11 月 12 日 (Instagram)

社会人

2025 年 ブネイ・ブリス・コネクトとカケハシ・プロジェクトは、友情・学び・文化交流を祝う美しいクロージングセレモニーで幕を閉じました。参加したコネクトメンバーは、2 つの素晴らしいプレゼンテーションを披露しました。ひとつは「共通の経験から平和を考えること」、もうひとつは「ユダヤ教・仏教・神道の共通点の発見」。平和の教訓と日本におけるユダヤ文化の融合についての学びでした。つながり、振り返り、そして希望に満ちた、忘れられない一週間の締めくくりとなりました。



2025 年 11 月 7 日 (ブネイ・ブリス・コネクト (ブネイ・ブリス・インターナショナル内若手コミュニティ部門) の Instagram)

「カケハシ・プロジェクト」の一環として来日した、ブネイ・ブリス・インターナショナル (B'nai B'rith International) の推薦によるユダヤ系米国人若手リーダー代表团による表敬訪問を受けました。

冒頭で、大西政務官は代表团を歓迎しました。また、ハマスなどによるテロ攻撃から 2 年以上を経て、すべての生存している人質が解放されるとともに停戦が実現した最近の合意についても言及し、これを歓迎しました。

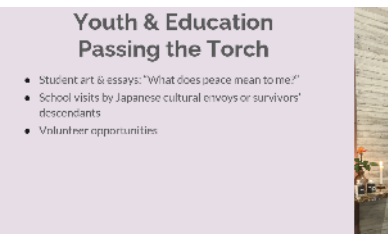
さらに大西政務官は、日米同盟の重要性を強調し、日米同盟を支える絆の一部として、日米ユダヤ人コミュニティ間の緊密な交流が重要であると述べました。その上で、今回の訪問が日米関係の一層の発展に寄与することへの期待を表明しました。代表团のメンバーは、日本に招待されたことへの感謝を述べるとともに、訪日の印象や今後の抱負を共有しました。また、日本とイスラエルの関係や日本の安全保障環境について質問しました。

「カケハシ・プロジェクト」の目的は、北米地域の優れた若手リーダーたちに日本への関心と理解を深めてもらうことにあります。訪問体験を最大限に生かした活動を通じて、親日派・知日派を育成することを目指しています。参加者は、自身の専門分野や関心に応じて日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策に関する理解を深め、日本についての発信力を強化することを目的としています。

 ユダヤ人コミュニティの相互扶助組織ブネイ・ブリス・インターナショナルの皆さまが来訪され、イスラエル情勢や今後の日本との外交関係についてギラッド・コーヘン大使との意見交換が行われました。 会談は終始和やかな雰囲気、さらなる相互理解につながる有意義なひとときとなりました。	 ユダヤ系米国人の若手リーダーの皆さんが、外務省主催「カケハシ・プロジェクト」で福山市内海町を訪問されました！ 穏やかな瀬戸内海をクルージングしたり、阿伏兎観音や島々の絶景めぐりをしたり、海辺の散歩や焚火を囲んで語り合い、音楽に合わせてダンス。自然と人が共鳴しあう心豊かな暮らしを通じて文化も国も言葉を越えて、笑顔と心が通じ合う時間。瀬戸内の海風と共に、“心の架け橋”が結ばれました！
2025 年 11 月 5 日（イスラエル大使館の Instagram） ユダヤ人コミュニティの相互扶助組織ブネイ・ブリス・インターナショナルの皆さまが来訪され、イスラエル情勢や今後の日本との外交関係についてギラッド・コーヘン大使との意見交換が行われました。 会談は終始和やかな雰囲気、さらなる相互理解につながる有意義なひとときとなりました。	2025 年 11 月 6 日（福山まると体験推進協議会の Instagram） 【カケハシ・プロジェクト × ニューヨーク・福山市内海町】 ユダヤ系米国人の若手リーダーの皆さんが、外務省主催「カケハシ・プロジェクト」で福山市内海町を訪問されました！ 穏やかな瀬戸内海をクルージングしたり、阿伏兎観音や島々の絶景めぐりをしたり、海辺の散歩や焚火を囲んで語り合い、音楽に合わせてダンス。自然と人が共鳴しあう心豊かな暮らしを通じて文化も国も言葉を越えて、笑顔と心が通じ合う時間。瀬戸内の海風と共に、“心の架け橋”が結ばれました！

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、広島県 全 2 グループ発表

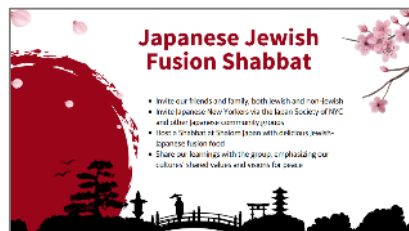
グループ A		
		
【成果の発表】 ◆ 訪日中の学び 広島を訪れて、日本は壊滅的な被害から、いかに気品と人間性をもって復興したかが分かりました。 ◆ 個人的展望 異なる文化や世代間の理解を深めることを目指します。		

【アクション・プラン】

- ・生徒の芸術作品とエッセイ：「私にとって平和とは何か？」を募集します。
- ・日本の文化使節または被爆者の子孫による学校訪問を計画します。
- ・ボランティアの機会を作ります。

グループ B

Group B



【成果の発表】

◆ 訪日中の学び

私たちは文化的な類似点を見出しました。

神道と仏教の儀式を観察し、両文化とも祈りの前に手を洗う儀式を大切にしてきたことが分かりました。

◆ 個人的展望

ユダヤ教と日本のコミュニティに伝統的な儀式シャバット（安息日）とおいしい食事（実り）を囲んでもらい、平和と交流を促進して、両文化の架け橋となることを目指したいと思います。

【アクション・プラン】

「日本とユダヤ文化の融合によるシャバット」

ユダヤ人と非ユダヤ人の友人・家族を招待します。またニューヨーク日本協会、その他の日本人コミュニティを招待します。そしてシャロム・ジャパンレストランでユダヤ文化と日本文化が融合したおいしい料理を囲みながらシャバットを主催します。

お互いの学びを共有し、両文化が共有する価値観と平和への展望を広めます。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）